

風しんに対する免疫が不十分な妊娠初期の女性が風しんに感染すると、赤ちゃんが白内障、心疾患、難聴などを主な症状とする「先天性風しん症候群」にかかる恐れがあります。

妊娠中の女性への風しんの感染を防ぐため、対象者に対して風しん抗体検査を無料で実施しています。また、風しん抗体検査の結果、抗体価が不十分な方には風しんワクチンもしくは麻しん風しん混合（MR）ワクチンのいずれか1回の予防接種費用の一部を助成します。

なお、この予防接種は効果や目的、副反応等を理解した上で、希望する方に行う「任意の予防接種」です。

下記の注意事項をよくお読みください。

○ 風しん

風しんウイルスの飛沫感染（注1）によっておこります。潜伏期間は2～3週間です。発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹を特徴とします。そのほか眼球結膜の充血もみられます。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は患者3,000人に1人、脳炎は患者6,000人に1人くらいの割合で発症しています。大人になってからかかると重症になりやすく、関節痛がひどいことも特徴といわれています。（注1）ウイルスや細菌がせきやくしゃみなどで空気中へ飛び出し、約1mの範囲で人に感染させること。

1. 対象者：受診日又は接種日において国立市に住民登録がある19歳以上の方で、(1)～(3)のいずれかに該当する方

- (1) 妊娠を予定、希望する女性
- (2) 妊娠を予定、希望する女性の同居者
- (3) 妊婦の同居者

◆ 注2：予防接種の費用助成を受けられるのは、抗体検査（妊婦健康診査等も含む）の結果、抗体価が基準値に達していない方【具体的には、HI法（赤血球凝集抑制法をいう。）においてHI抗体価が「8倍」「16倍」等であった方、EIA法（酵素抗体法をいう。）においてEIA価が8.0未満（デンカ生研）であった方又は国際単位①30IU/ml未満（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス㈱、極東製薬工業㈱）②国際単位45IU/ml未満（シスメックス・ピオメリュウ㈱、ベックマン・コールター㈱であった方）】のみです。

◆ 注3：以下のいずれかに該当する方は対象にはなりません。

- 過去に風しん予防接種を2回以上受けたことがある方
- 過去に本事業を利用したことがある方
- 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性の方で、風しん第5期の定期接種の対象となる方【※ただし、抗体検査の結果、HI法16倍・EIA法6.0等の方は本事業で予防接種を受けることが可能です。詳細は担当までお問い合わせください】

2. 接種するワクチン：風しんワクチンもしくは麻しん風しん混合（MR）ワクチンのいずれか1回

3. 抗体検査費用：無料

4. 予防接種費用：風しんワクチン・・・・・・・・・・3,000円（自己負担額）
麻しん風しん混合（MR）ワクチン・・4,000円（自己負担額）

※生活保護又は中国残留邦人等支援給付受給世帯の方は無料となります（接種の際、受給証明書を国立市内指定医療機関に提示してください）。

[裏面へつづく](#)

5. 実施医療機関：国立市内の協力医療機関（別紙を参照）

6. 次の方は接種できません

- ① 現在妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方（なお、接種後2～3か月間は妊娠を避ける必要があります）。
なお、申込後に妊娠が判明した場合も接種しないでください。
- ② 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- ③ 重篤な急性疾患にかかっている方
- ④ 27日以内に、注射生ワクチンの接種を受けた方
- ⑤ 水ぼうそう、おたふくかぜなどにかかり、治ってから2～4週間程度たっていない方。また、かぜ（鼻水・せきなどの症状）にかかり、治ってから1～2週間程度たっていない方
- ⑥ 輸血またはガンマグロブリンの投与後3か月以上たっていない方（ガンマグロブリン大量療法の場合は6か月以上）
- ⑦ その他、医師が不相当と判断した方

7. 予防接種を受けるにあたって医師に相談が必要な方

次に該当する方は、かかりつけ医に前もって診ていただき、当日の診察で接種可能と認められれば受けることができます。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などで治療を受けている方
- ② 予防接種で、接種後2日以内に発熱の見られた方及び予防接種で、接種後に発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた方
- ③ 接種しようとするワクチンの成分に対して、全身性発疹などのアレルギーと思われる異常をおこすおそれがある方
- ④ 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- ⑤ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全の方がいる方

8. 副反応について

① 風しんワクチンの副反応

主な副反応：発疹（過敏症）（全身症状）、じんましん、紅斑、痒痒（かゆみ）、発熱（過敏症）（全身症状）、頸部その他のリンパ節の腫脹（はれ）、関節痛（全身症状）（局所症状）、発赤、腫脹（局所症状のはれ）、疼痛

重い副反応：ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病

② 麻しん風しん混合（MR）ワクチンの副反応

発疹、蕁麻疹（じんましん）、紅斑、多形紅斑、そう痒、発熱、不機嫌、口頭紅斑、口腔咽頭痛、咳、鼻汁・鼻閉、眼脂、食欲減退、腹痛、下痢、嘔吐、頸部その他のリンパ節腫脹、頭痛、関節痛、発赤、腫脹、硬結、疼痛

重い副反応：ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、脳炎・脳症、けいれん

9. 接種後の注意

- ① 接種後30分間は、まれに急な副反応がおこることがありますので、医療機関と連絡をとれるようにしておきましょう。
- ② 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴はさしつかえありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- ③ 接種当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で構いません。
- ④ 接種後1週間は副反応に注意しましょう。
- ⑤ 接種後2～3か月間は妊娠を避ける必要があります。
- ⑥ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受け、その結果を子育て支援課子ども保健・発達支援係（保健センター内）までお知らせください

10. 健康被害の救済について

任意予防接種で健康被害が生じた場合は、健康被害の程度により、国立市が加入する全国市長会予防接種事故賠償保険の対象となります。また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による健康被害救済制度の対象となります。

（予防接種法に基づく健康被害救済制度の対象にはなりません）